

教職の魅力向創造プロジェクトに参加して

黒澤 里彩（地域教育文化学部地域教育文化学科児童教育コース4年）

私は、小学校教員体験セミナーと学びのフォーラムに参加させていただきました。2つを体験して感じた、本プロジェクトの魅力は2点あります。

1点目は、教師を目指す高校生が、子ども達と関わり、教師が働いている様子を実際に見ることができる点です。小学校教員体験セミナーの中で高校生は、できる限り子ども達に近寄って、子ども一人ひとりの授業に取り組む様子やグループの活動を、よく観察していました。また、参観させていただいた授業の中で、丸付けを体験させていただく機会もあり、初めての体験で戸惑いながらも、間違えた子どもに対しては、丁寧に教えてあげる姿も見受けられました。体験後、高校生からは、「小学生は、私達が思っていたよりも、よく学んでいる。」「丸付けで、間違えている子に対して、一方的に教えてしまったけれど、ヒントを出すなど、もう少し子どもに考えさせながら教えてあげれば良かった。」という感想が挙げられました。小学生と関わり、「先生」と呼ばれる経験をしたからこそ、今まで気付くことができなかつた子どもの良さや、教師の魅力を知ることができたのだと考えます。

2点目は、「教育」で繋がった、年齢も職業も異なる人達が、対等な立場で考えを出し合い、議論できる場が実現されているという点です。学びのフォーラムは、答えがある問題と日々格闘している高校生にとって、1つのテーマについて、とことん考える楽しさを教えてくれる場所であると考えます。また、私達、大学生にとっては、学習者である高校生と指導者である先生方から、話を聞くことができる貴重な機会です。特に、高校生と議論することは、忘れかけていた学習者としての感覚を思い出させてくれます。さらに、高校生からは、この会を通して、苦手な教科にどのように向き合っていくかを考えている様子が見受けられました。学びのフォーラムが、今の自分の姿を見直すきっかけになっているのだと気付きました。

プラットフォーム会議では、大学の先生方、現場の先生方、高校生の教職の魅力を伝えていこうとする姿勢から、沢山の刺激を受けました。今回、委員として、本プロジェクトに携わらせていただいた経験を忘れることなく、教職の魅力を伝えていける教員になりたいです。